

格

五年

画数 10
筆順

杉枝格
カク・コウ

成り立ち



「石段が規則正しく並んでいる」意味の「各(4年48)」「木」とを組み合わせて作った字です。

「木を上下左右に規則正しく組み合わせで作った「格子」を表した字です。「子」は、「帽子」の子と同じで、「……という物」というような意味です。

「規則」とか「基準」とかの意味にも使われます。例 格式、資格、人格、品格。

「正しい」という意味にも使われます。例 厳格、格言。

使い方

▽おねえさんは、ある私立の中学校に合格しました。この学校は、伝統があり、とても格式が高いそうです。
▽わたしの学校の先生は、とても厳格です。なまけたり、悪いことをしたりすると、厳しく叱られます。人間は、人格をみがかなければならない、と先生はいつもおっしゃいます。

熟語例

▽格式(基準となる身分や家柄)
▽資格(その仕事や地位にふさわしいという基準。「保母の資格を取っておく」というふうには、つかいません。)
▽人格(人としての基準。人から、「高潔な人格」などというふうには、つかいません。)
▽品格(人としての基準にふさわしい品位。気品。「品格のある女性」などというふうには、つかいません。)
▽厳格(厳しく、きちんとしていること。厳しく正しいこと。)
▽格言(正しい内容を簡単に言い表していて、いましめとする言葉)

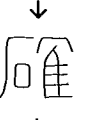
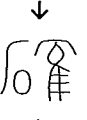
確

五年

画数 15
筆順

石破確
カク

成り立ち



空高く飛びあがる様を表した「雀」と、「かたい」意味を表した「石(148)」とを組み合わせで作った字です。

「人の心が、高くなりたい」ことを表した字で、「物事がしつかりしている」という意味に使います。例 確固(たる信念)、確保、確実、正確。

また、「たしかめる」という使い方もします。例 確認。

使い方

▽勉強でも仕事でも、一步一步、確実にやるということが大事です。正確な知識にもとづいて、あせらず根気よく積み重ねて行くことが大事なのです。
▽品物を買う時は、よく品質を確認してから、買うことにしています。この前うっかり買ったシャツは、洗ったらすぐ縮んでしまいました。

熟語例

▽確固(しつかりしていて固いこと。「確固たる信念の持ち主」などというふうには、つかいません。)
▽確保(しつかりと保つこと。「座席を確保してから、その辺を見物に出かけた」などというふうには、つかいません。)
▽確実(確かで間違いないこと。「九時の電車に乗れば、確実に間に合う」などというふうには、つかいません。)
▽正確(正しくて間違いないこと。「この時計は正確だ」などというふうには、つかいません。)
▽確認(確かめて、間違いないと認めること。「地震など万一の場合に備えて、非常食や飲料水などの確認をしておきましょう」などと、つかいません。)